

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用 特異性	感染症(PT)	出典	概要
991	2008/03/10	70991	中外製薬	ペバシズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	チャイニーズ ハムスター 卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
992	2008/03/10	70992	中外製薬	ペバシズマブ(遺伝子組換え)	ベプトン	ブタ胃組織	米国	製造工程	無	無	無			
993	2008/03/12	70993	化学及血 清療法研 究所	乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	アンチトロン ビンIII	ヒト血液	日本	有効成分	有	有	無	チクングニヤウ イルス感染	PLoS Pathogens 2007; 3: 1895-1906	2005～2006年にレユニオン諸島でアウトブレイクしたチク ングニヤウイルス(CHIKV)感染は、エンペロー蛋白遺伝伝 子の変異株(E1-A226V)が関係していた。この変異の、 ネットアシマカおよびヒトシシマカにおけるCHIKV適合性 に対する影響を調べた。その結果、CHIKVのヒトシシマ カに対する感染性が有意に増加し、哺乳マウスへの伝播 がより効率的になることが明らかとなった。通常のベク ターであるネッタイシマカがいない同地域でCHIKVが大 流行したのはこの変異が原因と考えられる。
												エボラ出血	CDC 2008年1月8日	CDCとウガンダ保健省は、2007年8月から始まったウガン ダ西部に位置するBundibugyo地区におけるエボラ出血熱 のアウトブレイクを報告した。2008年1月3日までに148人 が罹患し、37人が死亡した。患者検体の遺伝子解析によ り、既知の4つのエボラウイルス株と異なる、新たなウイル ス株である可能性が示唆された。確定には更なる研究が 必要である。
												鳥インフルエ ンザ	China View, www.chinaview.cn 2008-01-10	2007年12月に江蘇省南京で発生した52歳男性の鳥イン フルエンザ感染患者は、患者であった息子との濃厚な接 触により感染したものであり、ウイルスの変異は認められ ていない。しかし、息子と父親はいずれも死亡した家畜と の接触がないため、息子の感染源は明らかになっていな い。息子は11月24日に発症し、12月2日に死亡し、父親は 12月3日に発症したが回復した。ヒト用トリインフルエンザ ワクチンは臨床試験Phase IIの段階にある。